

平成 26 年度 新居浜市廃棄物減量等推進審議会議事録

- 1 開催日時 平成 26 年 7 月 18 日（金）10：00～11：30
- 2 開催場所 新居浜市清掃センター 管理棟 3 階
- 3 出席者 （委員）日野会長、野村副会長、眞鍋委員、高橋委員、菅委員、井田委員、越智委員
永易委員、小野茂樹委員 （計 9 名）
（市） 横川環境部長、本田ごみ減量課長、中西
- 4 欠席者 （委員）牛尾委員、小野裕基伸委員、毛利委員、坂上委員、佐伯委員、杉本委員、
古川委員、松岡委員、飯尾委員、伊藤委員
（計 10 名）

5 部長あいさつ

6 清掃センター見学

清掃センター見学後の質問

（永易委員）

清掃センターの焼却熱を利用しての売電は、全量売電できていないということですが、今後の方針はどのようになっていますか。

（部長）

現在、四国電力と協議を行っており余剰分の売電を検討中です。

7 議事

（日野会長）

それでは、本日の議題に移ります。

「ごみの排出状況と他市との比較」について事務局より説明をお願いします。

（事務局）説明

（日野会長）

ありがとうございました。今の説明に関しまして何かご質問等ございますか。

（永易委員）

可燃ごみの持込が他市より多いということですが原因はどこにあるのでしょうか。

（次長）

清掃センターへの持込が無料であること、野焼きの指導を徹底していること、自治会未加入者

のステーション排出に厳しい自治会が多いことが要因として考えられますがあくまでも推論です。清掃センターに持ち込んでくる車両を調べると軽四車が多く、ごみの重量も 50kg 以下のものが半分以上ありますのでちょっとずつごみを持ち込んでくるみたいです。現在、持込者に対しアンケートを実施中ですのでその結果で対応を検討しようと考えています。

(高橋委員)

ごみを清掃センターに持ち込まれることについて、何か不都合があるのでしょうか。

(次長)

市民にとっては長時間待たされるという不都合はあります。清掃センターとしては、混雑する問題はありますが、持ち込まれるごみの処理について不都合ということはありません。

(高橋委員)

昨日、泉川校区のまちづくり校区集會に参加しましたが、ごみの収集が課題として挙がっておりまして、自治会未加入者が無断でステーションに排出した場合、違約金として 1,000 円徴収することにした自治会では、15 人加入したそうです。こういった取り組みで加入者が増えることにより清掃センターへの持ち込みも減少するのではないかと思います。

(日野会長)

自治会加入者は毎年 1 パーセントずつ減少しています。自治会では未加入者のごみステーションの利用について問題になっておりまして、未加入者には利用させない自治会もあるようですが、連自治会の統一した対応にはなっておりません。

自治会への加入率が上がり、ごみも減少してという風になるのが一番理想ですが、これについては市民の意識改革が必要になってくると思います。

ところで、事業ごみが多いようですがどのように分析しておられますか。

(次長)

事業ごみは平成 21 年度に料金改定もあって減少しておりますが、その後、増加傾向にあります。今後、料金改定も必要ではないかと考えています。事業ごみにはリサイクルできる紙類が多く含まれていると考えられますので、紙類をリサイクルしてもらえそうな仕組みも必要ではないかと考えています。

確かに新居浜市で扱うごみ量は多くなっていますが、他市と比べてごみの総量が多いとは考えづらいと思います。根本的に減少させるためには食品リサイクルなどを施策として推し進める方法もありますが、市民の方に生ごみのたい肥化に取り組んでいただく等少しづつごみを減少させていく施策も必要と考えています。

(部長)

新居浜市では自分でブロック塀などを取り壊した場合、最終処分場に持ち込むことが可能ですが、他市では持ち込み禁止とし業者に引き取ってもらうしかないため、結果ごみ量として算定さ

れないというケースもあるようです。

(小野委員)

あまり市民を締め付けるのはどうかと思います。今、企業も大変な時期にありますのでもっと規制を緩和していてもいいと思います。

(会長)

新居浜市では自分で家を解体した場合、清掃センターや最終処分場に持ち込めますが、業者に依頼したら費用が高くなります。廃棄物行政も市民のためという観点があっても良いと思います。ごみの有料化の問題も含めてよい考えがあれば御意見をいただきたいと思います。

(眞鍋委員)

資源ごみが減少している理由は市として何か分析していますか。

(井田委員)

私は田の上に在住していますが、資源ごみ集団回収の時間が短くなり出しにくくなりました。

(次長)

新聞や雑誌の発行部数の減少などが原因として考えられます。

(高橋委員)

私は四国中央市に赴任していたことがありますが、四国中央市の施設や機材は古いものが多く切り詰めた生活をしています。それに比べて新居浜市は豊かだと感じています。先日、主婦向けの雑誌で「幸せに暮らせる街」ランキングで、新居浜市が全国 9 位になったという記事がありました。

(菅委員)

身障者センターで綿 50 パーセントの古布を回収する事業を行っておりますが、ダンボールコンポストの虫よけカバーを古布で作成する試みも新たに行っております。古布の量が足りないのので行政の方で啓発をお願いします。市で回収した古布はどのようにリサイクルされているのでしょうか。

(次長)

Tシャツなどは東南アジアに輸出されそのまま使用されているようです。そのまま着用できないものはウエスに加工されているようです。

(井田委員)

回収拠点は増えてはいないのですか。

(次長)

総合福祉センター、生きがい創造学園にも拠点ができました。

(野村副会長)

家庭ごみの持ち込みが多いという件ですが、大型ごみのステーション収集が廃止された後、清掃センターに持ち込むか戸別収集を市に依頼するかの 2 択になりました。私は、戸別収集は手間だなと感じていたのですが、依頼してみると意外に簡単でした。私のように戸別収集は手間だと考える人が多いから、清掃センターに持ち込む人が多いのではないかと思います。市民に対し手軽にできますよという周知が必要ではないかと考えます。

さきほどから話にも出ていますが、手軽にごみを出せるということも市民サービスの上で重要だと思しますので、減量するところはするというような焦点を絞ったごみ減量施策を実施していただきたいと思います。

また、傘やフライパンが大型ごみとなっていますが何とかならないでしょうか。そうすれば持込ごみが減少するのではないのでしょうか。

(眞鍋委員)

タンسوと傘が同じ大型ごみという扱いになっているのはおかしいと思います。

(次長)

傘は 5 本で一点などの取扱いさせていただいております。

(日野会長)

この大型ごみの件は、行政でしっかり検討していただいたらと思います。

他に質問や御意見などはありませんか。

それでは、「平成 26 年度ごみ減量事業」について事務局より説明をお願いします。

(事務局)

説明

(日野会長)

今の説明に関してご質問などはございますか。

(眞鍋委員)

生ごみの減量は重要だと考えます。市のごみ処理量を大きく減少できます。特にダンボールコンポストは場所を取らないので気軽に取り組むことができます。悩みはどこまでやるべきか。昨年は環境市民会議で 500 セットほど配布できましたが、新居浜市の総世帯数の 1 %にも満たない量です。市ではなかなか目標を定められないと思いますのでこの会で目標を定めていただいたらと思います。

(菅委員)

ダンボールコンポストを配布した方に対し、追跡調査などは実施されていますか。継続している割合はどれくらいなのでしょう。私はコットンという会に所属しておりますが、昨年ダンボールコンポストの講習をしてもらいましたが、継続者はいない状況です。

(事務局)

現在窓口で販売している方は住所、氏名を記入してもらっていますので、追跡調査は可能だと思います。

(眞鍋委員)

継続率は6割くらいです。

(野村副会長)

私は生ごみを家の畑にそのまま埋めていますが、要は生ごみを家庭で処理する人を増加させることが重要だと思います。家庭でそれぞれのスタイルがありますので、色々な生ごみの処理方法を広報することが良い方法だと感じます。

(眞鍋委員)

どのように伝えるかということだと思います。

(次長)

生ごみを処理して下さいとなかなか広まらない。生ごみを処理して、たい肥を作って庭や畑に使いましょうという紹介の方法が最適ではないかと考えています。

(日野会長)

他に質問や御意見はございませんか。市から何かありますか。

(部長)

熱心に御討議いただきありがとうございました。本日いただいた御意見を参考にさせていただいてごみの減量施策を実施していきたいと考えていますのでよろしくお願いいたします。

(日野会長)

それでは、平成 26 年度廃棄物減量等推進審議会を終了いたします。長時間お疲れ様でした。